

環境経営レポート 2023年度

活動期間：2023年2月1日～2024年1月31日



2024年7月26日発行

三英電業株式会社

目次

1. 経営理念	1
2. 組織の概要	2
// (対象事業所一覧)	3
3. 環境マネジメントシステム組織図	4
// (役割、責任、権限)	5
4. 環境経営方針（2023年版）	6
5. 2023年度 環境経営目標・計画（P）	7
6. 2023年度 環境経営目標・実施（D）	8
7. 2023年度 環境活動具体的実績（D）	9
(1) 環境関連法令順守状況及び評価結果	//
(2) 二酸化炭素（CO ₂ ）総排出量と売上金額 年度別比較	10
(3) 二酸化炭素（CO ₂ ）排出量と使用量及び使用金額	
2022年度比較	//
(4) 二酸化炭素（CO ₂ ）排出量内訳 年度削減実績	11
(5) リサイクル（廃棄物、紙）、節水（水使用量） 年度削減実績	//
8. 環境活動の取り組み結果・評価（C）	12
9. 環境・安全への取り組み事例	13
10. 環境経営方針 2024年改定版	14
11. 2024年度 全社における展開と目標（A）	15
12. 代表者による活動全体の評価と改善（C・A）	16
13. CO ₂ 削減状況 代表例 3事業所	
(1) 東京支店 南部支社	17
(2) 南関東支店 横浜支社	18
(3) 北関東支店 埼玉支社	19
(4) その他事業所の環境活動への取り組み	
① 地域清掃の実施	20

(5) その他

① 事故及び緊急事態の想定対応訓練の実施 21

② 安全への取り組み：基本動作反復訓練 //

(6) SDGs 活動の取り組み 22

※ P(プラン)：計画、D(ドゥ)：実施、C(チェック)：評価、A(アクション)：改善

1. 経営理念

三英電業株式会社は創業からの経営理念である

社是 「安全・技術・調和」

を礎に、総合電気工事・通信工事を中心に環境保全活動を推進しております。

環境への取り組みについて社内外へ明確にするため、2004年8月より環境マネジメントシステムを構築し、全社大で環境活動に取り組み、更に2005年7月より『エコアクション21』の認証を取得し、10年以上にわたり環境活動を展開してまいりました。

また2023年度「業務運営指針」では、「環境保全」を掲げ、環境に対応した企業運営の継続的改善を推進してまいりました。

2. 組織の概要

商 号 三英電業株式会社
所在地 〒141-8611
東京都品川区大崎1丁目19番20号
TEL 03-3495-8111（代表）
FAX 03-3495-8696
URL <http://www.sanei-dengyo.com>
代表者 代表取締役社長 大場 雄介
資本金 9,600万円
創 業 昭和19年1月
会社設立 昭和35年2月2日
売上高 250億円（2023年度）
従業員数 345名（2024年1月31日 現在）
延べ床面積 19,585㎡
事業活動 地中配電線、発電・変電、土木、内線、通信線、止水・ライニング工事、
電線管加工、電設資材配送



建設業許可 国土交通大臣許可

- ・特 定 建 設 業 国土交通大臣 許可（特-2）第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日～令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気工事業、土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
水道施設工事業
- ・一 般 建 設 業 国土交通大臣 許可（般-2）第4387号
許可の有効期限 令和2年6月27日～令和7年6月26日まで
許可を受けた建設業 電気通信工事業

エコアクション21 認証・登録番号 0000435

環境管理責任者 石井 幸雄

環境マネジメントシステム事務局 野口 政春

対象事業所 別紙 事業所一覧に記載

組織の概要（対象事業所一覧）

●本社 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL.03-3495-8111（代表） FAX.03-3495-8133

- ・管理本部：総務部、経理部、営業部、品質安全部
- ・電気事業本部：内線部、通信部
- ・電力事業本部：電力部
- ・ISO推進室

●小山研修所 〒329-0203 栃木県小山市西黒田 77
TEL.0285-45-2250 FAX0285-45-2459

●芦川研修所 〒250-0521 神奈川県足柄下郡箱根町箱根 150
TEL.0460-83-7234 FAX0460-83-7234

●資材センター 〒340-0813

埼玉県八潮市木曽根 731-1

TEL.048-995-3551

FAX.048-996-8819

●東京支店 〒141-8611 東京都品川区大崎 1-19-20
TEL. 03-3492-5969 FAX 03-3492-5997

- ・南部支社 〒140-0003 東京都品川区八潮 1-1-1
TEL. 03-3790-8125 FAX 03-3790-8126
- ・西部支社 〒120-0047 東京都足立区宮城 1-33-17
TEL 03-3912-8111 FAX. 03-3912-8115
- ・東部支社 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-1-11
TEL. 03-3686-9148 FAX. 03-3686-6896

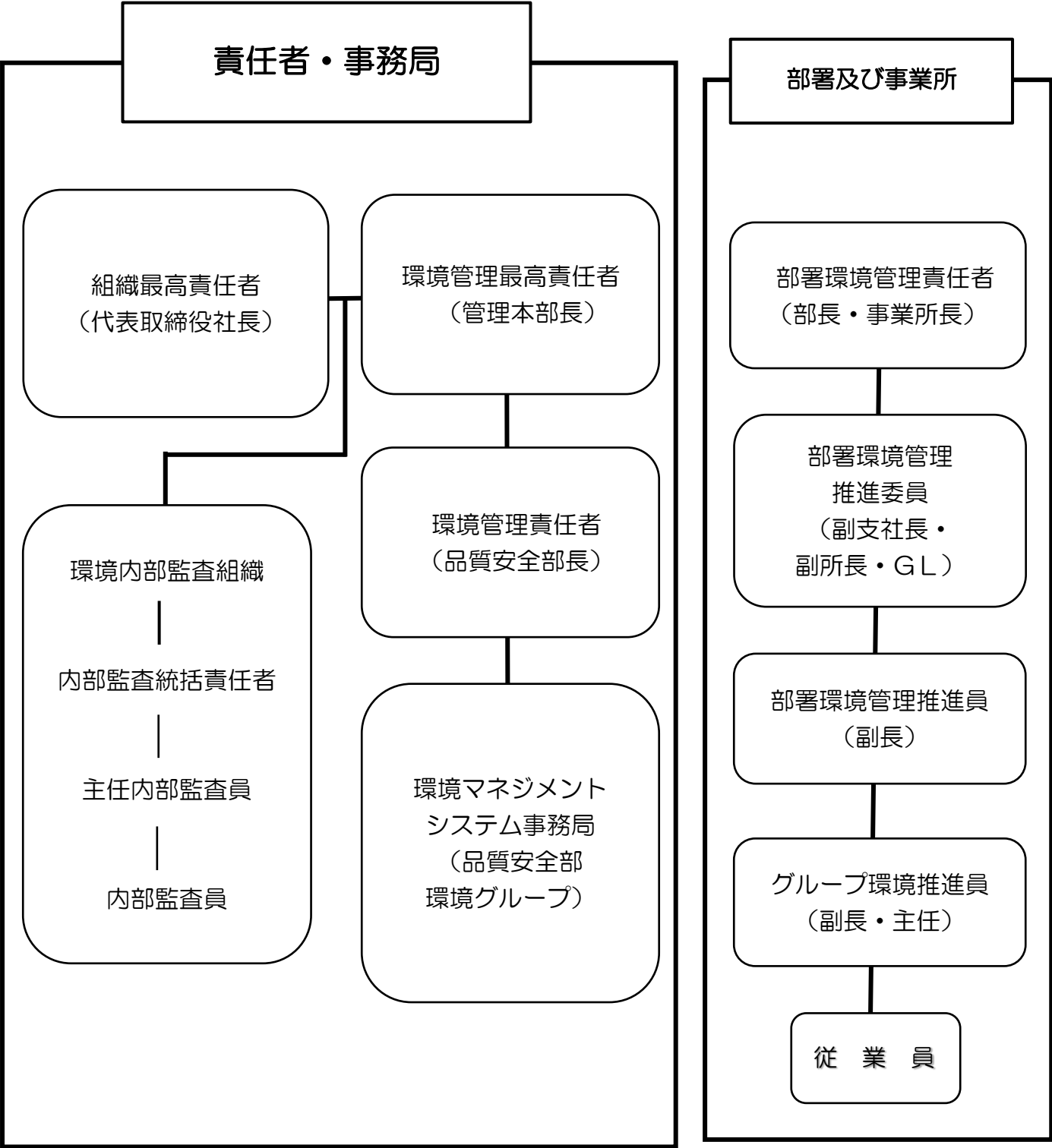
●南関東支店 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121

- ・横浜支社 〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-98-1
TEL.045-501-8111 FAX.045-503-2121
- ・大和営業所 〒242-0018 神奈川県大和市深見西 1-1-8
TEL.046-262-8451 FAX.046-262-8460
- ・御殿場営業所 〒412-0042 静岡県御殿場市萩原 1433-8
TEL.0550-83-7161 FAX.0550-83-7211
- ・多摩支社 〒186-0011 東京都国立市谷保 5850-1
TEL.042-577-1415 FAX.042-576-0875
- ・山梨営業所 〒400-0043 山梨県甲府市国母 6-2-14
TEL.055-228-6981 FAX.055-228-6389

●北関東支店 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578

- ・埼玉支社 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木北 1-5-1
TEL.048-422-1155 FAX.048-421-4578
- ・栃木営業所 〒329-0205 栃木県小山市間々田 791-17
TEL.0285-45-8395 FAX.0285-45-5997
- ・群馬営業所 〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町 3358
TEL.0270-23-5531 FAX.0270-26-6292
- ・千葉支社 〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町 418-1
TEL.043-423-7047 FAX.043-422-0861
- ・茨城営業所 〒319-0111 茨城県小美玉市中野谷 501-181
TEL.0299-49-1234 FAX.0299-49-1937

3. 環境マネジメントシステム組織図



環境マネジメントシステム組織図（役割、責任、権限）

役割	責任、権限
最高責任者及び環境管理最高責任者	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・実施体制の構築（組織図及び役割、責任、権限） ・環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な設備、費用、時間、人を用意 ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境管理責任者を指名 ・全体の評価と改定又は見直しを実施
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムを構築、運用する ・環境目標、環境活動実施計画書及び実績表の作成 ・環境経営レポートの発行 ・教育、訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備、対応 ・環境活動の取組結果を環境管理最高責任者へ報告
環境マネジメントシステム事務局	・エコアクション21システムの推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と順守評価実施 ・環境経営レポート作成 ・環境関連文書、記録の管理 ・外部環境情報の窓口
各部署及び事業所担当 部署環境管理責任者 部署環境管理推進委員 部署環境管理推進員 グループ環境推進員	・環境目標及び環境活動計画の実施、確認、評価、達成状況の報告 ・同上 ・実施上の問題点の是正、予防処置実施 ・環境活動におけるチェックリストの記録、運用管理 ・同上
従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 ・エコアクション21で決められた各自の役割を実施

環境内部監査組織

内部監査統括責任者	・内部監査の統括 ・監査結果の環境管理責任者への報告
主任内部監査員	・内部監査統括責任者の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認、及び内部監査統括責任者への報告
内部監査員	・主任内部監査員の補佐 ・年度内部監査実施計画に基づく監査の実施 ・内部監査の実施に関し発生した指摘事項の是正状況確認及び主任内部監査員への報告

4. 環境経営方針（2023年版）

三英電業株式会社は、「安全・技術・調和」を社是に掲げ、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じ、継続した環境負荷低減に努めます。

法令を順守し、電気・通信という社会基盤を築く企業として、以下の環境活動方針を掲げ、全社を挙げて取り組みます。

環境活動方針

1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 節水活動に取り組み水使用量の削減に努めます。
4. 業務効率の向上を図り、資機材の有効活用と再生利用に努めます。
5. 関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した、持続可能な環境保全活動を推進します。
6. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開に努めます。
7. 工事力を考慮した計画的な受注活動により、効率的な事業運営を心掛けます。

平成16年8月1日制定
令和4年2月1日改定
三英電業株式会社
代表取締役社長

大場 雄介

5. 2023年度＜環境経営目標・計画（P）＞

1. 環境関連法規制の順守

- ・社内外の業務について環境関連法規制や関係条例の順守。

2. 事業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減

- ・業務の効率化の再点検、無駄の排除を行い、二酸化炭素排出量削減（前年度実績値以上の削減努力）。

3. 節水に取り組み、水使用量を削減

4. 資機材の有効活用と再生利用

- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）にリフューズ、リペアを加えた5Rの推進。

5. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動を推進

6. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開

- ①内部監査の計画実施。
- ②エコアクション21認証登録における更新審査の受審。
- ③「環境経営レポート 2022年度」版の発行。

7. 工事力を考慮した計画的な受注活動の実施

6. 2023年度＜環境経営目標・実施（D）＞

1. 環境関連法規制の順守

- ・該当法令に関する定期的な確認及びチェックリストを作成する。

2. 業務効率向上により事業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減

- ①環境マネジメントシステムの継続的な改善及び業務量を見越した、環境マネジメントプログラム目標値を設定する。
- ②NHK（なくす、へらす、かえる（変える、換える、替える））による業務効率を向上する。
- ③電子媒体を活用し情報共有化を推進する。

3. 節水を実施し、水使用量を削減目標量以下にする

4. 資機材の有効活用と再生利用を推進する

- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進する。又、リフューズ、リペアを加えた5Rを推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。
- ・紙の裏面使用及びペーパーレス化を推進し、紙使用量を削減目標以下にする。

5. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動を推進する

- ・現場清掃時の散水を出来るだけ再生水を使用する。

6. 環境保全活動に関する体制整備と情報を公開する

- ①内部監査を計画的に実施する。
- ②エコアクション21認証登録における更新審査を受審する。
- ③「環境経営レポート 2022年度」版を発行する。

7. 工事力を考慮した計画的な受注活動を実施し、効率的な業務運営を心掛ける

- ・工事力を効率的に運用できる様、事業所間の情報交換を図る。

7. 2023年度 環境活動具体的実績（D）

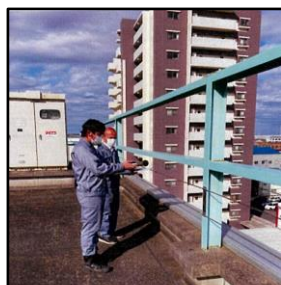
（1）環境関連法令等順守状況及び評価結果

	法規制等の名称	適用内容・順守事項	違反の有無	今年度順守状況	次年度取組み
廃棄物処理	廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・マニフェストB2、D、Eの返還確認（5年間保管）	無	良	継続
	資源有効利用促進法	・廃棄物の利用（リユース、リサイクル、サーマルリサイクル（※））	無	良	継続
	建設リサイクル法	・発注者への計画等説明と完了報告 ・分別解体 ・再生資源等の促進 ・再生資源の利用	無	良	継続
	家電リサイクル法	・家庭用エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機等の廃棄時の適正管理	無	良	継続
	グリーン購入法	・環境物品等の購入に努める ・環境物品等に関する情報の提供	無	良	継続
騒音振動	騒音規制法 振動規制法	・特定建設作業の実施の届出、規制の順守 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	無	良	継続
大気	オフロード法	・排出ガスの規制について（対象車両：フォークリフト）	無	良	継続
	フロン排出抑制法	・第一種特定製品の管理者点検の実施	無	良	継続
水質	水質汚濁防止法	・舗装の切断作業時に発生する排水の処理、産業廃棄物として処理（濁水・汚泥）	無	良	継続
	浄化槽法	・浄化槽の適正管理（10条：清掃（年1回）、11条：法定点検） ※小山研修所、栃木営業所、群馬営業所、茨城営業所	無	良	継続
化学物質労働安全	労働安全衛生法	・有機溶剤、化学物質の取扱い順守（MSDSの適切な運用） ・車両系建設機械の定期的な検査の実施、記録 ・安全管理者、衛生管理者の選任、届出 ・安全衛生教育の実施、記録	無	良	継続
	消防法	・少量危険物の貯蔵、取扱管理記録（塗料など） ・消火設備の配置	無	一	一
工事作業関連	建設工事公衆災害防止対策要綱	・付近居住者等への周知 ・埋設物の確認、土留工の管理 ・排水処理、地盤沈下等の処理 ・塵芥（じんかい）、騒音防止の措置	無	良	継続
	道路交通法	・道路において工事をする際は、道路使用許可を得る	無	良	継続
		・道路交通法の順守			
地球温暖化対策	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）	・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出規制に努め、国、地方公共団体の施策に協力する	無	良	継続
	東京都環境確保条例	・地球温暖化対策報告書制度（東京都環境局へ地球温暖化対策報告書を提出（毎年度））	一	良	継続
各自治体条例等	各事業所に適用される条例等	・各事業所とも順守している	無	良	継続

- ・当社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反無し。
- ・環境に関連する苦情は無し。
- ・2005年エコアクション21認証登録以降、関係行政からの指摘、利害関係者からの訴訟等無し。

※サーマルリサイクル：廃棄物を焼却処理した時の熱を利用すること。

資材センター：法令順守状況
実施状況



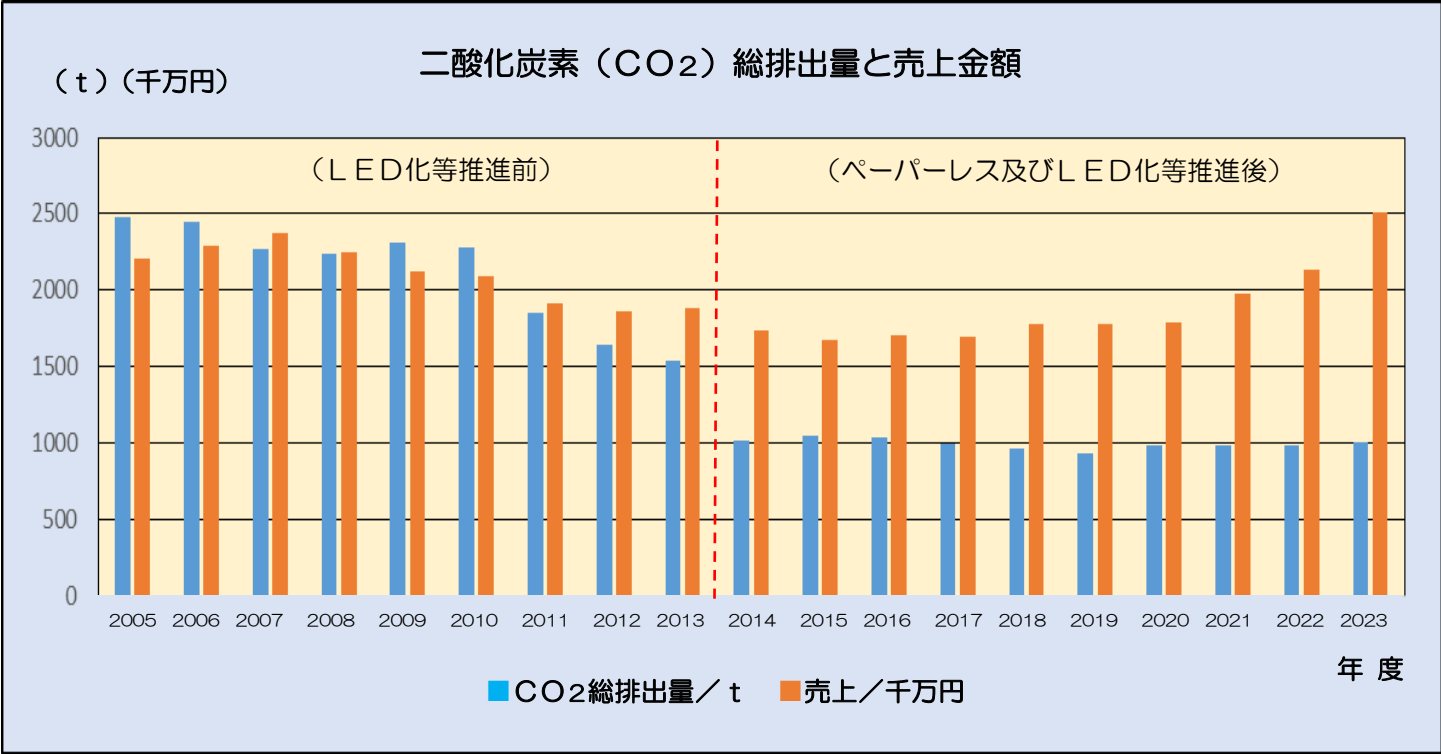
作業時発生騒音測定実施

茨城営業所：社員への法令順守等
教育実施状況



異動者教育実施状況

(2) 二酸化炭素(CO2)総排出量と売上金額 年度別比較



(3) 二酸化炭素(CO2)排出量と使用量及び使用金額 2022年度別比較

2023年度 総合集計対比	電気			CO2 2022年 対比(%)	都市ガス・プロパンガス				CO2 2022年 対比(%)	燃料					CO2 2022年 対比(%)	二酸化炭素換算(電気・ガス・燃料)		金額合計(円)		
	使用量 (kWh)	CO2 (kg)	金額 (円)		使用量 都市ガス (㎡)	プロパン ガス(㎡)	CO2 (kg)	金額 (円)		使用量 ガソリン (L)	使用量 軽油(L)	使用量 灯油(L)	CO2 (kg)	金額 (円)		CO2 (kg)	2022年 対比(%)	金額合計 (円)	2022年度 金額 (円)	2022年度 対比 (%)
本社	290,755	128,223.0	7,941,272	100.8%	0.0	0.0	0.0	0	—	19553.05	3002.65	—	53230.00	3,726,009	97.2%	181,453.00	99.7%	11,667,281	12,373,954	94.3%
資材センター	49,140	21,670.7	1,447,722	90.2%	0.0	0.0	0.0	0	—	452.75	1637.23	—	5339.90	268,954	132.2%	27,010.60	98.3%	1,716,676	1,949,940	88.0%
研修所	77,720	34,274.5	3,383,491	98.2%	0.0	1,223.3	2,397.7	745,438	147.1%	165.61	197.68	—	902.10	56,474	168.9%	37574.30	101.4%	4,185,403	3,785,732	110.6%
寮関係	0	0.0	0	—	0.0	0.0	0.0	0	—	0.00	0.00	—	0.00	0	—	0.00	—	0	0	—
本社計	417,615	184,168.2	12,772,485	99.0%	0.0	1,223.3	2,397.7	745,438	147.1%	20171.41	4837.56	0.00	59472.00	4,051,437	100.2%	246,037.90	99.8%	17,569,360	18,100,636	97.1%
東京支店	30,057	13,259.5	898,282	101.6%	0.0	0.0	0.0	0	—	1181.60	0.00	—	2741.30	140,610	119.2%	16,000.80	104.2%	1,038,892	1,089,081	95.4%
南都支店	161,949	71,419.5	5,012,383	89.0%	0.0	0.0	0.0	0	—	16794.75	3138.62	—	47187.00	2,312,437	103.6%	118,606.50	94.3%	7,324,820	8,073,461	90.7%
西部支店	98,712	43,532.0	4,280,702	100.6%	757.0	0.0	1,483.7	141,508	98.3%	11422.00	5318.00	—	40432.20	1,891,018	100.5%	85447.90	100.5%	6,313,228	5,110,777	123.5%
東都支店	48,684	21,469.6	1,767,508	104.0%	0.0	262.0	513.5	118,732	104.1%	9295.95	4923.25	—	34463.90	1,598,460	88.3%	56447.00	92.4%	3,484,700	3,981,673	87.5%
東京支店計	239,412	149,680.7	11,958,885	95.2%	757.0	262.0	1,997.2	260,240	99.7%	38694.30	13379.87	0.00	124824.40	5,942,525	97.5%	276,502.20	98.3%	18,161,650	18,254,992	99.5%
南関東支店・横浜支社	67,628	29,823.9	1,971,514	84.9%	122.0	0.0	239.1	29,417	42.5%	11042.53	2003.08	—	30866.70	1,547,979	111.0%	60,929.70	95.9%	3,549,910	3,956,859	89.7%
御殿場営業所	18,254	8,050.0	826,076	101.5%	0.0	76.1	149.2	89,806	78.4%	7169.17	9808.55	—	42330.90	1,833,986	118.4%	50,530.10	115.1%	2,749,868	3,039,573	90.5%
大和営業所	42,432	18,756.6	1,562,748	95.7%	0.0	0.0	0.0	0	—	8648.96	2532.75	—	26701.40	1,287,699	121.9%	45458.00	109.5%	2,850,447	2,950,144	96.6%
多摩支社	47,473	20,935.6	1,688,694	98.0%	0.0	175.0	343.0	167,438	101.4%	9886.86	1528.82	—	26943.00	1,329,418	110.2%	48221.60	104.5%	3,185,550	3,349,807	95.1%
山梨営業所	15,204	6,705.0	706,242	105.5%	0.0	0.0	0.0	8,912	0.0%	4355.86	3748.99	—	19485.00	1,173,154	95.6%	26190.00	98.0%	1,888,308	1,835,149	102.9%
南関東支店計	191,091	84,271.1	6,755,274	93.2%	122.0	251.1	731.3	295,573	88.7%	41103.38	19622.19	0.00	146327.00	7,172,236	112.3%	231,329.40	104.3%	14,223,083	15,131,532	94.0%
北関東支店・埼玉支社	59,016	26,026.1	1,760,536	98.2%	0.0	67.8	132.9	46,061	79.7%	11493.54	4543.25	—	38568.30	1,822,056	109.6%	64,727.30	103.7%	3,628,653	3,700,296	98.1%
栃木営業所	48,415	21,351.0	1,848,134	126.0%	0.0	0.0	0.0	0	—	6785.24	2309.36	—	21792.30	1,038,379	101.2%	43,143.30	112.1%	2,886,513	2,478,461	116.5%
群馬営業所	23,061	10,169.9	994,417	93.0%	0.0	27.3	53.5	34,385	140.1%	3391.37	5056.55	—	21116.10	904,230	119.2%	31339.50	109.2%	1,933,032	1,944,085	99.4%
千葉支社	34,441	15,188.5	1,310,177	89.1%	0.0	93.0	182.3	61,865	83.7%	11238.10	8994.20	—	49637.20	2,236,754	105.9%	65008.00	101.4%	3,608,796	3,970,210	90.9%
茨城営業所	23,102	10,188.0	895,886	108.6%	0.0	50.0	98.0	29,146	115.4%	9447.35	5028.52	—	35092.60	1,627,087	112.7%	45378.60	111.8%	2,552,119	2,437,120	104.7%
北関東支店計	188,035	82,923.4	6,809,150	101.8%	0.0	238.1	466.7	171,457	92.0%	42355.60	25931.88	—	166206.50	7,628,506	109.0%	249,596.70	106.5%	14,609,113	14,330,172	101.9%
全社大合計	1,136,153	501,043.5	38,295,794	97.3%	879.0	1,974.5	5,592.9	1,472,708	108.8%	142,324.88	63,771.50	0.00	496,830.10	24,784,705	105.7%	1,003,466.20	101.3%	64,563,206	65,817,332	98.1%
2022年 年度対比金額				3,559,333	2022年 年度対比金額				88,394	2022年 年度対比金額					2,238,814	1.3		2022年度対比 金額	1,254,126	

枠内の数値及び色表記		枠内の数値及び色表記	
数値	: CO2増加又は廃棄量・使用量の増加	赤字	: 金額増加(2022年度対比)
数値	: CO2減少又は廃棄量・使用量の減少	黒数字	: 金額減少(2022年度対比)
		赤字	: CO2増加数値(2022年度対比率(%))

(4) 二酸化炭素（CO₂）排出量内訳 年度削減実績

		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度		2023年度目標対比（％）			2022年度実績対比（％）			2024年度 単年度目標値	2023年度 中期年度目標値
						目標値	実績値	増減	前年比	増減	達成率				
温室効果ガス排出量 （二酸化炭素）	電気	CO2 kg	431,874	507,496	515,034	509,884	501,044	-8,840	98.3	○	-13,990	102.8	◎	496,034	418,918
	ガス		6,695	6,189	5,237	5,185	5,593	408	107.8	×	356	93.6	×	5,537	6,494
	燃料（車両など）		475,271	474,005	470,122	465,421	496,830	31,409	106.7	×	26,708	94.6	×	491,862	461,013
	合計		913,839	987,691	990,393	980,489	1,003,466	22,977	102.3	×	13,073	98.7	×	993,431	886,424

※ 前年比：◎は90%未満 ○は90～100%未満 ×は100%以上

※ 達成率：◎は101%以上 ○は100～101%未満 ×は100%未満

※ 電気のCO₂排出係数は、東京電力 2020年度 0.441kg-CO₂/kWhを使用。

【実施内容】

- ・CO₂削減目標に対し、事務所内空調機常時使用や手洗い・うがいの実施など、コロナ拡散防止対策の影響もあり、目標値に対し2.3%増で未達成となった。又、前年度実績に対しても1.3%増で未達成となった。

【参考】

- ・CO₂削減に向け、単年度目標「前年度比 1.0%以上削減」に設定。2021年度から2023年度の中期年度目標設定し、到達目標は「2020年度比3.0%以上削減」、又、2021年度から2025年度の長期年度目標を設定し、到達目標は「2020年度比5.0%以上削減」としている。

(5) リサイクル(廃棄物・紙)・節水(水使用量) 年度削減実績

		単位	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度		2023年度目標対比（％）			2022年度実績対比（％）			2024年度 単年度目標値	2023年度 中期年度目標値
						目標値	実績値	増減	前年比	増減	達成率				
廃棄物等排出量	一般廃棄物	t	22	20	22	21	22	1	104.7	×	0	100.0	○	21	21
	汚泥	t	475	1,838	2,625	2,599	2,290	-309	88.1	◎	-335	114.6	◎	2,267	461
	コンクリート	t	4,735	12,762	6,193	6,131	6,102	-29	99.5	○	-91	101.4	◎	6,041	4,593
	アスファルト・ コンクリート	t	1,035,234	29,389	44,531	44,086	74,913	30,827	169.9	×	30,382	59.4	×	74,164	1,004,177
化学物質使用量	有機溶剤	kg	48	28	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水使用量	上水道	m ³	9,977	10,472	10,344	10,241	10,558	317	103.0	×	214	97.9	×	10,452	9,678
紙使用量	コピー用紙	枚	1,809,000	1,729,000	1,658,200	1,641,618	1,577,000	-64,618	96.0	○	81,200	105.1	◎	1,561,230	1,754,730

※ 前年比：◎は90%未満 ○は90～100%未満 ×は100%以上

※ 達成率：◎は101%以上 ○は100～101%未満 ×は100%未満

【実施内容】

- ・汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（乾燥・脱水）後に リサイクル材（コンクリート材・骨材・ブロック等）として再生されている。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても、処理業者にて再生され循環資源として利用されている。
- ・アスファルト・コンクリートについては、前年度より業務量増大が、大きな影響になり未達成。
- ・節水については、感染症予防対策などもあり、水使用量は増加した。

【参考】

- ・排出および使用量削減に向け、単年度目標「前年度比 1.0%以上削減」に設定。2021年度から2023年度の中期年度目標設定し、到達目標は「2020年度比3.0%以上削減」、又、2021年度から2025年度の長期年度目標を設定し、到達目標は「2020年度比5.0%以上削減」としている。

8. 環境活動の取り組み結果・評価（C）

1. 環境関連法規制の順守

- ・法令違反等の発生及び苦情の事例は無かった。

2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減

- ・業務量が増加したが、二酸化炭素排出量は、削減目標に対し1.3%増加に抑えた。排出金額については、2022年度比 約125万円削減した。

3. 節水による水使用量削減

- ・感染症予防対策などもあり、水使用量は2023年度削減目標に対し3%増加した。

4. 資機材の有効活用と再生利用

- ・各所ごとの積極的な構内整理などの為、今年度一般廃棄物は、前年度排出量に対し増加した。
- ・全社内で紙の裏面使用が浸透しており、2023年度削減目標に対し、4%削減出来た。

5. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動の推進

- ・現場清掃用の散水を雨水利用など、再生水を活用した。

6. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開

- ①内部監査を対象の16部署及び事業所で実施し、業務に関わる法令違反、指摘観察事項等無しで完了した。
- ②6月に更新審査を受審し、重大な指摘事項等なく、認証・登録を継続した。
- ③5月に発行し、全社的な環境活動報告する事で、各社員の環境意識向上に役立てた。

7. 工事力を考慮した計画的な受注活動の実施

- ・事業所間での工事力調整を行い、空きのない様、融通して工事力を活用した。

環境保全活動に関する体制整備と情報公開



エコアクション21認証
登録を更新



環境経営レポート
2022年度版の発行

現場での環境保全活動と計画的な受注活動の実施



路面カッター
濁水清掃実施

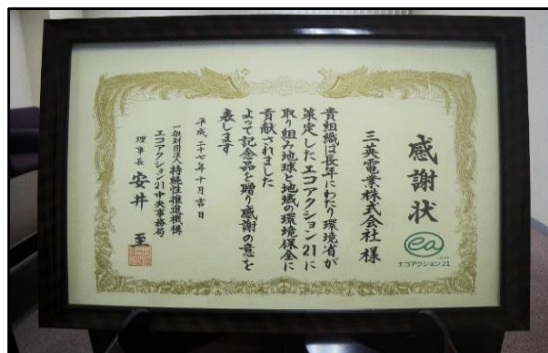


事業所責任者
による社員へ
の業務説明実
施状況

9. 環境・安全への取り組み事例

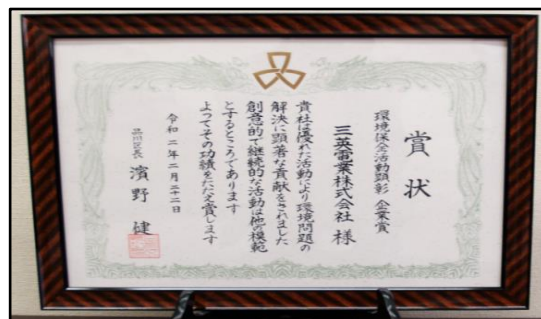
- ・エコアクション21中央事務局より、エコアクション21認証・登録を10年にわたり継続した環境活動が評価され、感謝状をいただきました。

(2015年10月)



- ・品川区より「環境保全活動顕彰」の企業賞をいただきました。

(2020年2月)



- ・2023年度は全社大による省エネ活動の推進により、電気、ガス、燃料（車両）等の使用量（CO₂排出量）削減に努めています。
- ・業務車両による環境影響を下げる観点から、低排出ガス車両導入及び車両の小型化を2000年度より推進しています。
- ・廃棄物の更なる有価物化と再生利用を推進しております。
- ・各所においては、緊急連絡体制を整備し業務に関わる事故、災害及び非常災害時に備え、常時対応可能としています。
- ・社員、協力会社参加による「安全衛生大会」及び工事に関わる事故、災害などの防止を目的とした「基本動作反復訓練」を毎年度、実施しています。



「安全衛生大会」の開催



「基本動作反復訓練」の実施



10. 環境経営方針 2024年改定版

三英電業株式会社は、「安全・技術・調和」を社是に掲げ、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を通じ、継続した環境負荷低減に努めます。

法令を順守し、電気・通信というインフラを築く企業として、以下の環境活動方針を掲げ、全社を挙げて取り組みます。

環境活動方針

1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
2. 事業活動で発生するエネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 資源の有効活用を図り、廃棄物の削減と再生利用に努めます。
4. 節水活動に取り組み、水使用量の削減に努めます。
5. 業務効率の向上を図り、資機材の有効活用と再生利用に努めます。
6. 関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した、持続可能な環境保全活動を推進します。
7. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開に努めます。
8. 工事力を考慮した計画的な受注活動により、効率的な事業運営を心掛けます。

2004年8月1日制定
2024年2月1日改定
三英電業株式会社
代表取締役社長

大場 雄介

11. 2024年度 全社における展開と目標（A）

1. 環境関連法規制の順守

- ・該当法令に関する定期的な確認及びチェックリストを作成する。

2. 事業活動で発生するエネルギー（二酸化炭素）使用量によるCO₂排出量削減

- ①環境マネジメントシステムの継続的改善及び業務量を見越した環境マネジメントプログラム目標値を設定する。
- ②NHK（なくす、へらす、かえる（変える、換える、替える））による業務効率を向上する。
- ③電子媒体を活用し、情報共有化を推進する。

3. 資源の有効活用、廃棄物の削減と再生利用

- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）にリフューズ、リペアを加えた5Rを推進する。

4. 節水活動に取り組み、水使用量の削減

5. 資機材有効活用と再生利用

6. 関係会社等と協働し、現場での環境保全活動

7. 環境保全活動に関する体制整備と情報公開

- ①当社マニュアルを業務実態に合わせ、且つ、エコアクション21ガイドライン要求事項を満たした内容へ改定を行う。
- ②内部監査の計画実施。
- ③今年度はエコアクション21認証・登録の中間審査（6月実施予定）を受審する。
- ④「環境経営レポート 2023年度」版を発行する。

8. 工事力を考慮した計画的な受注活動を実施し、効率的な業務運営

12. 代表者による活動全体の評価と改善（C、A）

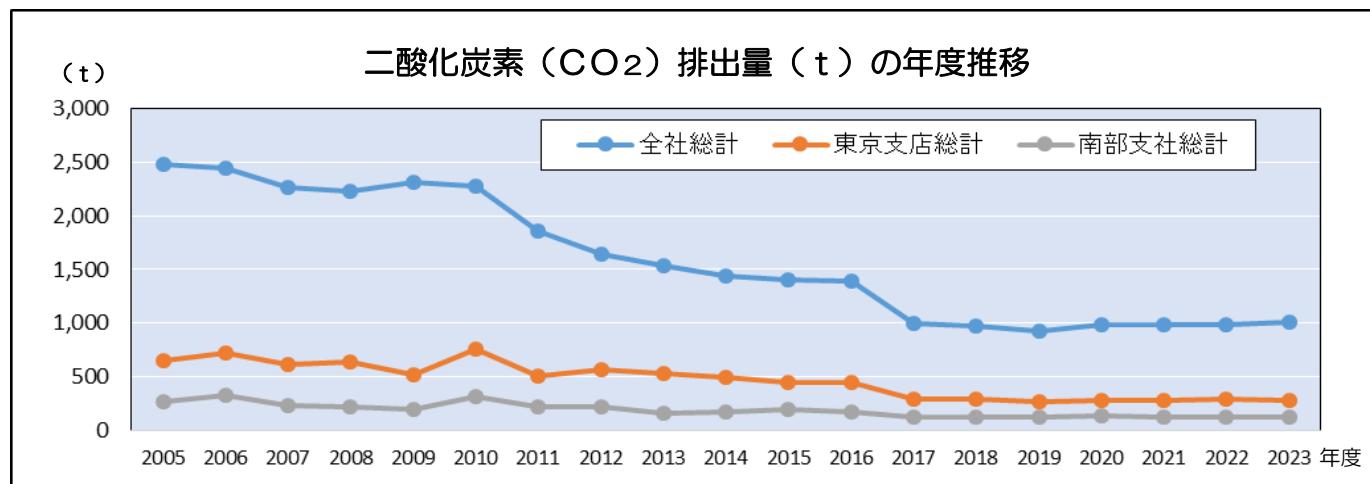
- 2023年度は、前年度比でCO₂排出量は1.3%増加になりました。当社環境活動における2021年度からの2025年度の5ヵ年「長期計画」の3年目にあたる年度であり、「2020年度比3%以上削減」をCO₂排出削減目標として活動してまいりましたが、13.2%増加結果になりました。業務量が増加している中、災害防止および交通加害事故防止など、何かと大変かと思いますが、2024年度も引き続き年度目標であるCO₂排出量「前年度比1.0%以上削減」達成に向けて、各所環境活動の推進をお願いいたします。
- 2024年度は、当社環境活動における2021年度からの2025年度の5ヶ年「中長期計画」の4年目にあたります。また「環境経営方針」を当社業務に沿った内容に改定し、持続可能な社会の実現に貢献できるよう努力して参ります。
- 以然として、世界的な社会情勢等に大きな不安感がありますが、社会インフラを担う一企業として、今後も法令順守、資源の有効利用、環境保全に貢献する企業運営への協力をお願いいたします。

2024年3月

大場 雄介

13. CO₂削減状況 代表例 3事業所

(1) 東京支店 南部支社



※2023年度は、前年度実績値以下を目標として活動し、感染症対策や業務量増加の中、社員の環境活動意識向上により、前年度実績値5.7%削減の結果になりました。今年度も所内での省エネ活動を推進し、引き続き前年度実績数値以下を目標として活動いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後に リサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

東京支店 南部支社：環境活動取り組み実施状況

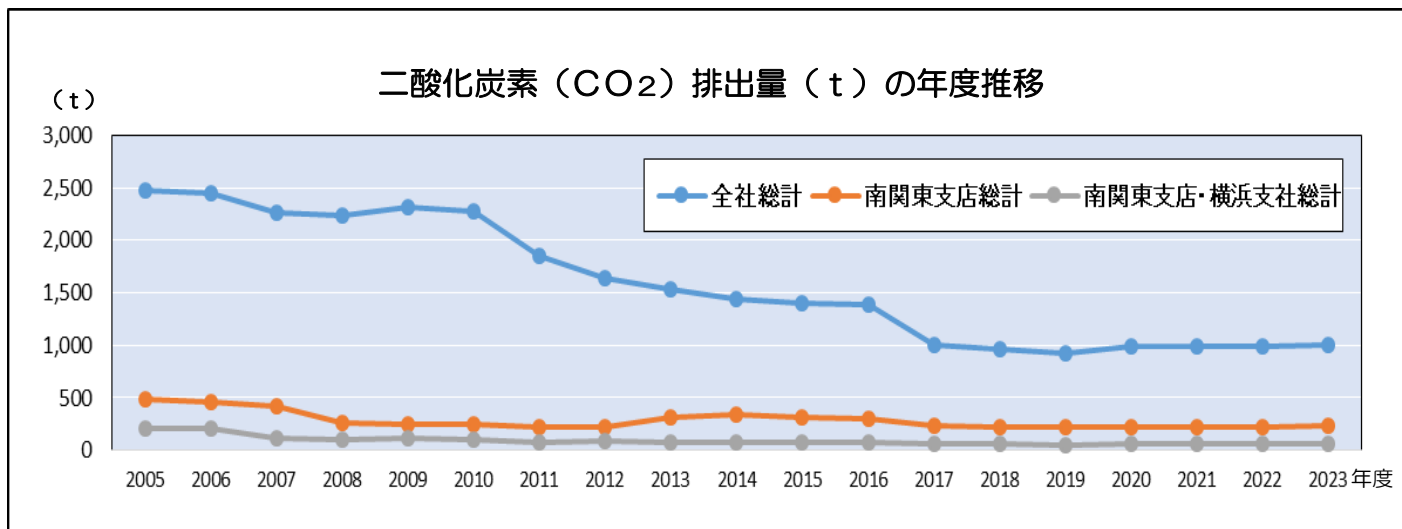


社員の環境教育実施状況



事業所周辺の地域清掃実施状況

(2) 南関東支店 横浜支社



※2023年度は、前年度実績比以上削減を目標として活動し、感染症対策や業務量増加の中、社員の環境活動意識向上により、前年度実績値4.1%削減の結果になりました。今年度も所内での省エネ活動を推進し、引き続き前年度実績数値以下を目標として活動いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後にリサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

南関東支店 横浜支社：環境活動取り組み実施状況

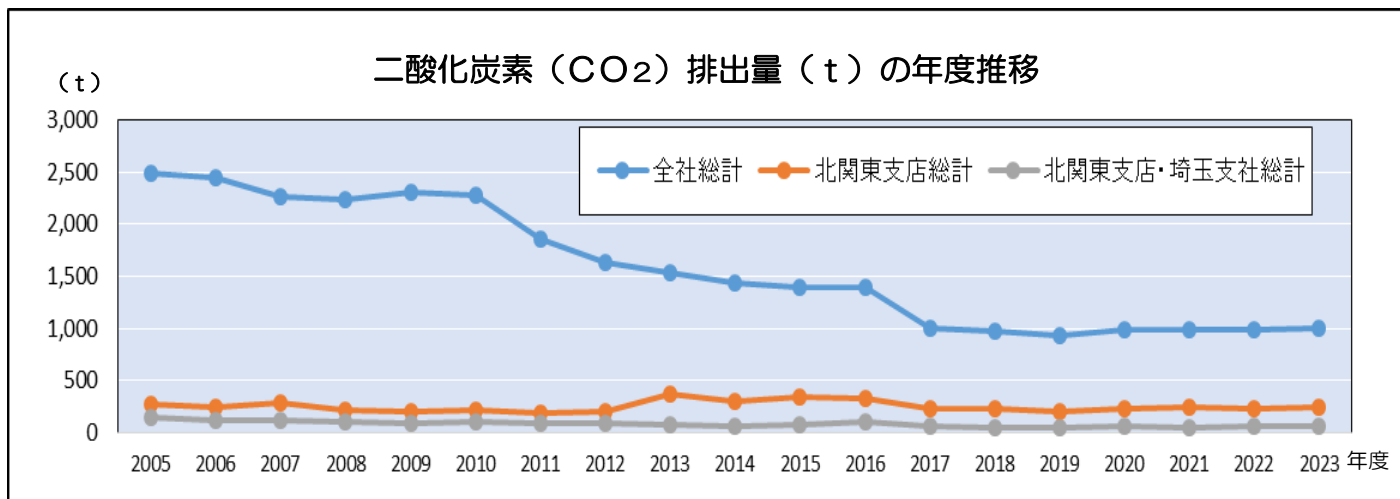


社員の環境教育実施状況



事業所内省エネ活動の実施

(3) 北関東支店 埼玉支社

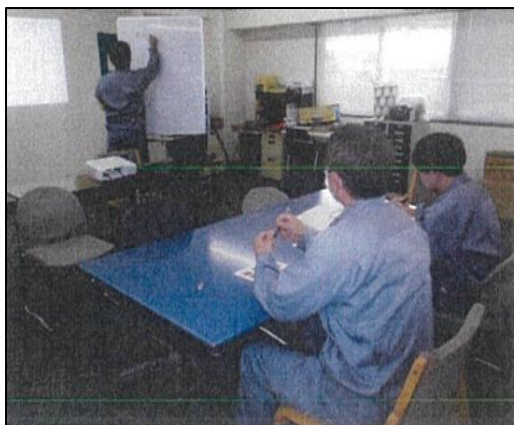


※2023年度は、前年度数値以下を目標として、社員一丸となって省エネ活動を推進しましたが、感染症対策や業務量増加もあり、削減目標値未達成になりました。今年度も業務に支障のない範囲で、引き続き省エネ活動を推進いたします。

※汚泥（路面切断カッター施工時に発生する濁水）については、処理業者にて脱水処理（遠心分離、乾燥、脱水）後に リサイクル材（コンクリート材、骨材、ブロック等）として再生されています。又、コンクリート、アスファルト・コンクリートなどの主要資材についても処理業者にて再生され循環資源として利用されています。

※自社に適用される主な環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法令に関する違反はありません。

北関東支店 埼玉支社：環境活動取り組み実施状況



社員の環境教育実施状況



事業所周辺の地域清掃実施状況

(4) その他事業所の環境活動への取り組み

① 地域清掃の実施



資材センター



東部支社



御殿場営業所



多摩支社



山梨営業所



栃木営業所

(5) その他

① 事故及び緊急事態の想定対応訓練の実施



本社：非常災害対策訓練の実施
AED（自動体外式除細動器）
使用による救命講習会実施状況

② 安全への取り組み：基本動作反復訓練



夏期 基本動作反復訓練の実施
（電工班による昇柱及び落下防
止ネット装着訓練状況）



冬期 基本動作反復訓練の実施
（電工班による昇柱及び落下防
止ネット装着訓練と土木班に
よるケーブルドラム取扱訓練
状況）

(6) SDGs活動の取り組み

当社のSDGs活動は、「環境経営方針」に基づき持続可能な社会の実現に向け、環境等に配慮した、さまざまな取り組みを行っています。

SDGsとは

SDGs(エスディージーズ：持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。社会で抱える問題を解決し、世界全体で2030年を達成を目指して明るい未来を作るため、17の目標と169のターゲットから構成されています。

三英電業株式会社 SDGs活動(取り組み)

17の目標

目標1【貧困】 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	目標2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標3【健康】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	目標4【教育】 すべての人々に包摂かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
目標5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	目標6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な次世代エネルギーへのアクセスを確保する	目標8【経済成長と雇用】 包摂かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	目標10【不平等】 国内及び各国間での不平等を是正する
目標11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現	目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費と生産体制を確保する
目標13【気候変動】 気候変動に強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現	目標14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対策など生態系サービスの向上、陸域及び生物多様性の損失防止を図る	目標16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	

※目標(赤字)は環境に関連する内容です

環境

CO₂削減で地球温暖化対策を行います
定期的な数値目標管理により、事業活動で発生するCO₂の削減に努め、地球温暖化を少しでも食い止めたと思います

【具体的な取り組み】

- 電気・ガスなど、事業所エネルギーの省力化
- 業務車両の効率的な稼働による車両燃料の抑制
- 事業において、発生する水使用の節水

【関連するSDGs】

7 エネルギー 13 気候変動 14 海洋資源 16 平和

3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動を通じて循環型社会を目指します
資機材の有効活用と再生利用の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し続けます。3Rの取り組みは、枯渇する資源の使用量削減につながり、CO₂削減などの環境問題の解決に貢献できます

【具体的な取り組み】

- 廃棄物分別化による廃棄量削減
- 不用品のリサイクル
- 修理に伴う廃棄物のリサイクル
- 事業において、発生するコンクリート・アスファルト・コンクリート・コンクリート・コンクリートの再生利用

【関連するSDGs】

7 エネルギー 8 経済成長 11 持続可能な都市 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動

社会

関係会社等と協働し、現場での環境を配慮した環境保全活動を推進します

【具体的な取り組み】

- 当社環境活動の周知
- 安全会議等による情報の共有化
- 教育制度の充実

【関連するSDGs】

4 質の高い教育をみんなに 8 経済成長 17 平和

ガバナンス

企業理念に基づいた公正かつ健全な企業経営を通じて、全てのステークホルダーに価値を提供し続けます
ステークホルダーに信頼され、選ばれる企業集団の確立を目指し、公正で透明性の高い健全な経営を継続し続けます

【具体的な取り組み】

- 環境法規制や関係業例等の遵守
- 反社会的勢力への対応
- リスクマネジメント
- コンプライアンス教育
- 社内通報制度

【関連するSDGs】

11 持続可能な都市 16 平和